

あつみ小経営プラン 令和8年度 学校経営構想案

鶴岡市立あつみ小学校

憲法・教育基本法・
学校教育法 ほか
国の諸法規 及び
学習指導要領

【学校教育目標】

ふるさとに誇りを持ち、
高い志をもって 挑戦し続ける子どもの育成
～やさしく かしこく たくましく～

鶴岡市教育目標

ふるさと鶴岡を愛し未来を
ひらく、いのち輝く人づくり
いのち輝く市民が躍動する
環境づくり
【重点施策】
逞しさ・優しさ・賢さを育む
学校教育の推進
逞しさ=生活習慣の確立
優しさ=他者への思いやり
賢 さ=学習意欲の継続

第7次 山形県教育振興計画

【目標】
ウェルビーイングを
目指し、多様性あふれる
持続可能な社会の実現
を担う山形の人づくり

<あつみっ子のよさ> 明るさ・優しさ・郷土愛・なかよし・努力家・真面目
<あつみっ子の課題> 自主性・主体性・判断力・応用力・規範意識

【学校経営の基本方針】～ 輝きのちづくり ～

- (1) 「個性伸長」＝一人ひとりをよりよく伸ばす教育
- (2) 「チームあつみ」＝協働・創造・進取による学校教育目標の具現
- (3) 「共育」＝信頼関係を深め、学校・家庭・地域で共に育てる

保護者・地域の願い

【めざす子ども像と 育てたい力】

やさしい子

○ 人とのつながりを感じながら、よりよい社会を創ろうとする。 【社会力】

かしこい子

○ 自他を大切にしたい思いを言葉や行動で表す。 【コミュニケーション力】

たくましい子

○ 学ぶことへの意欲と学習する基盤を自ら整える。 【自学力】

○ 授業の中で学びを深める。 【集中力】

○ ふるさとを愛し、大切に思う心を育てる。 【郷土愛】

○ やるべきことをねばり強くやり通す。 【意志力】

○ 生命と健康を自分自身で守る。 【自己管理能力】

【めざす学校像】

- ◇ 子どもが行きたいと思う学校
- ◇ 保護者が通わせたいと思う学校
- ◇ 職員が勤務したいと思う学校
- ◇ 地域に開かれ、信頼される学校

「学校経営5つの柱」(あつみ小らしさ)

- ① 「やる気」と「学ぶ喜び・達成感」をどの子にも
- ② 「心と言葉」を育てる感性教育と言語環境の整備
- ③ 「友達と仲良く過ごせる力」の育成
- ④ 体づくりと実践的な防災安全指導
- ⑤ 「地域に学ぶ、魅力的な体験活動と探究活動」の充実

育成部経営

学年部・学級経営

【家庭・地域とのつながり】

- ☆あつみ小PTA
- ☆あつみ小学校後援会
 - ・学校評価の公開と共育の推進
- ☆コミュニティー・スクール
 - ・年3回の学校運営協議会の開催
 - ・あつみ小サポーターズクラブ
- ☆鶴岡市役所温海庁舎との連携
 - ◇ 総務企画課との連携
 - 「地域学校協働活動」
 - ・見守り隊(登下校・交通安全)
 - ・ぼっかぼかの会(読み聞かせ)
 - ・「生きる力を育む豊かな心を育てる次世代教育推進プロジェクト(SEL)」の推進
 - ◇ 産業建設課との連携
 - 「天魄山活動」
 - ・ふるさとの海・山・川・人の体験学習
 - ・地域の自然と産業
 - * 温海町森林組合との連携

令和8年度【重点】

「自分で考え、自分でできる力」を育てる

- (1) 心と体の安全・安心と健康に留意した学校経営
 - 「自己決定」・「自己存在感」・「共感的人間関係」基調の生徒指導
 - いじめの早期発見と早期対応による「安全・安心な風土の醸成」
 - 生活の中から課題を見つけ、解決方法を考え、行動する自治的活動
 - 災害状況に応じた避難行動を身につける実践的な防災安全教育
- (2) 主体的・対話的で深い学びの追求とICTの効果的活用
 - 学校研究を核とした、学習意欲・自力解決力・協働的な学び
 - 学習課題の明確化と振り返りによる「学習調整力」の育成
 - ICTの活用による個別最適な学びと、表現力・発信力の育成
 - 体験を通して、疑問や課題を見出し、探究的に学ぶ姿
 - 学んだことの効果的なまとめと発信・評価・共有・行動
- (3) 校務改善による働き方改革の推進と業務の効率化
 - 育成部経営と学年部経営の連動と「チーム体制」による指導
 - 「学び合う職員室」として日常的にOJTに努める
 - 「ねらい」に立ち返って方法を見直し、働き方改革を進める
- (4) 温海庁舎・学校後援会・学校運営協議会との連携
 - 温海庁舎や外部団体の協力を得て、特色ある教育活動を推進
 - ・SEL(Social & Emotional Learning)の実践
 - 地域に開かれた教育課程を編成し、郷土愛を醸成していく
 - ・地域・保護者との連携を重視した天魄山活動の推進
 - ・「あつみ小サポーターズクラブ」の周知と活動の充実

令和8年度の重点案

(1) 心と体の安全・安心と健康に留意した学校経営

- 「自己決定」・「自己存在感」・「共感的人間関係」を基調とした生徒指導による生活の安定
- いじめの早期発見と早期対応による「安全・安心な風土」の醸成
 - ・各種アンケートの分析と活用
- 日常生活の中から課題を見つけ、解決方法を考え、行動する自治的活動
- 地域の状況や災害に応じた避難行動を身につけるための実践的な防災安全教育の推進
 - ・発達段階に応じた防災学習
 - ・メールによる安否確認を取り入れた引渡訓練の実施

(2) 授業改善による「主体的・対話的で深い学び」の追求とICTの効果的活用

- 学校研究を核とした、学習意欲・自力解決力・協働的な学びの育成
- 学習課題の明確化と、振り返りによる「学習調整力(自分の学習を組み立てる力)」の育成
 - ・変容を自覚できる振り返りの工夫
 - ・自らの学習を振り返り、学びを調整する力を高める
- 効果的なICTの活用による個別最適な学びと、表現力・発信力の育成
 - ・タブレットやAIドリルの効果的活用
- 体験を通して、疑問や課題を見出し、探究的に学ぶ姿を身につけさせる
- 学んだことを効果的にまとめ、発信・評価の機会を作り、学びの共有と具体的行動化を図る
 - ・「天魄山活動」の発表の機会の確保
 - ・他学年、保護者、地域、交流校との学習内容の共有

(3) 校務改善による働き方改革の推進と業務の効率化

- 育成部経営と学年部経営を連動させながら、「チーム体制による指導」を機能させる
- 「学び合う職員室」として、同僚性を高めながら、日常的にOJTに努める
- 「ねらい」に立ち返って方法を見直し、働き方改革を意識した職務遂行に努める
 - ・モジュールの活用による授業時数の確保と6校時授業の削減
 - ・職員室文書棚とPC内共有データの整備、校務支援システムを活用した業務の効率化

(4) 温海庁舎・学校後援会・学校運営協議会との連携

- 温海庁舎や外部団体からの協力を得て、特色ある教育活動を推進する
 - ・SEL(Social & Emotional Learning)に関する研修会の実施と実践
- 地域に開かれた教育課程を編成し、学校と地域の連携による郷土愛の醸成
 - ・地域・保護者との連携を重視した天魄山活動の推進
 - ・「あつまっ子サポーターズクラブ」のねらいの周知と活動の充実

令和8年度 あつま小学校児童数										
	男	女	計	特別支援学級				備考	2026年2月17日現在	
				さわやか(知)		あおぞら(自備)			学年 計	備考
				男	女	男	女			
1年	3	1	4					4		
2年	8	6	14					14		
3年	2	9	11	2		1		14		
4年	8	7	15					15		
5年	10	5	15			1		16		
6年	9	8	17					17		
合計	40	36	76	2	0	2	0	80		